



記載記事の詳しい情報はカンコーWEBサイトのメディア情報からご覧いただけます。WEB限定記事もお読みいただけます。

カンコー学生服



受入れ側のメリットも明確に！

学校と地域が協働する 探究型職場体験

宮崎県西臼杵郡 日之影中学校

大切なのは、ゴールイメージと
育みたい資質・能力の明確化

少子高齢化が進む中、将来に地元を支える人材を育てるべく、ふるさと学習やキャリア教育を推進している日之影中学校。「職場体験」もその一つですが、単発の行事としてではなく、「総合的な学習の時間」の年間カリキュラム内の一つとして位置付け、体験して

終わりにならないよう、事前・事後の授業と連動したプログラムとして設計されています。

先生たちは、日之影中学校の生徒の現状について「挑戦する力や主体性を伸ばし、視野を広げたい。他者との対話力や発信力も身につける必要がある」と分析



生徒たちの事前学習では、「Society5.0」をはじめとした今後の社会変化から理解させました。

していました。

そこで2019年度は、

職場体験を通して目指す生徒の状態（ゴールイメージ）を「自分の生き方や、今後の社会に対して自ら問いを持ち、その学びを他者に発信できる状態」と設定。そのために育みたい3つの資質・能力を明確にしました。生徒の事前学習では、今後の社会変化や、受入れ先となる事業所について指導。さらに事業所とも意思統一が図れるよう、事業所研修会を実施しました。

職場体験で育みたい
資質・能力
(日之影中学校の場合)

- 1 探究 課題を自分ごととして捉え、問いを持つ力
- 2 協働性 多様な他者と協働する力
- 3 発信力 自分の考えを他者へ発信する力

職場体験カリキュラムの流れ
(日之影中学校の場合)

事前授業

日之影の「いま」を知り
取材計画を立てる

日之影の現状と社会の変化を学び、どのような力が求められるかを提示。立志式での発表に向けて、取材計画を立てる。

職場体験

取材計画をもとに
企業・ひとの魅力を探索

各受入れ事業所が検討した体験プログラムを通して、企業の魅力、働く大人の魅力を探索。

事後授業

振り返り、共有し、
自分にできることを考える

各自が体験を振り返り、クラス全体で共有。事業所で学んだ魅力を発表動画を作成するとともに、立志式での宣言を検討。

事業所研修で

自社の魅力を探り

プログラムを検討



事業所研修では、自社が提供している価値や大切にしていることをワークシートで整理。

栽培・加工

一心園

※敬称略

対話の中で知った
柔軟な働き方

お茶の栽培と加工を行う一心園。茶畑や加工場の見学のほか、従業員との対話時間を確保しました。対話の中で、年齢や能力に合わせて無理な

苦勞しつつも真剣に取り組んでいました。

受入れ事業所の声

「生徒をお客様扱いせず、一心園のメンバーとして受入れよう」と話し合いました。

さらに新商品開発やパッケージデザインなど、生徒が主体的に取り組むプログラムも。生徒たちは「価格設定が難しい」などと



活発に意見を出し合ってパッケージデザインを検討し、完成した商品を後日、道の駅・青雲朝市で販売。

「生徒をお客様扱いせず、一心園のメンバーとして受入れよう」と話し合いました。さらに新商品開発やパッケージデザインなど、生徒が主体的に取り組むプログラムも。生徒たちは「価格設定が難しい」などと

農業

アグリファーム

※敬称略

農業の背景から
学んで本気度UP

高齢化する農家に人手や機材を派遣するなど、労働力支援や担い手の育成を通じて地域課題の解決を目指すアグリファーム。まず座学を行い、事業

背景から中学生に理解させて体験へと移りました。農作業体験では、現在の農業の課題を体感させるため、あえて旧来の大

受入れ事業所の声

変な作業を先に課し、そのうえで先進の

ICTを活用したスマート農業を体験。生徒は「高齢化を逆に

今年度は従業員全員でプログラムを検討したことで、職場に一体感が生まれ、各スタッフの新たな強みも発見できました。また、職場に生徒が入ることがスタッフの刺激になり、モチベーションが上がりました。来年度は販売も含め、より一貫した仕事の流れを体験させたいと考えています。



体験に入る前に、日本の食料自給率の低さなどの現状について知ったことで本気度が上がりました。

「高年齢化を逆に活かして事業にしているのがすごい」「学んだことをおじいちゃん、おばあちゃんに活かしたい」と話していました。



柚子畑で収穫体験。選別作業では「機械じゃなくて手でやるのか」と驚きの声も。

ゆずの華では、柚子や青唐辛子の栽培と加工食品の生産を行っています。生徒たちは見学だけでなく、柚子の収穫や加工まで体験。町の特産品であ

る柚子を加工して付加価値をつけることで、地域が活性化することを実感しました。従業員の方々は大半が60歳以上。高齢でできることが限られるからこそ、各自の強みを活かして役割分担したチーム編成を大切にしています。従業員の方々とのコミュニケーションを通じて、互いに思いやり認め合

いながら働き続けることの意義も知りました。

受入れ事業所の声

高齢者が多いため、職場体験は中学生と交流できる貴重な機会。誰もが楽しんで教え、職場の雰囲気良くくなりました。今回は栽培から加工、販売までの一貫した流れを体験してもらいましたが、次に挑戦してみたいのは商品企画。私たちでは思いつかない斬新なアイデアに期待しています。

栽培・加工

ゆずの華

※敬称略

自分の強みを活かしてチームを支える



日之影の良さを知り、進学などで県外に出てほしい。それが事業所の願いです。

町の魅力や観光情報の発信拠点である日之影町観光協会。「生徒が知らない日之影を体験させよう」と、まず初日は町の歴史や資源について座学を行いました。また「家に帰ってから家族で日之影について語り合おう」という宿題を与え、様々な視点を持つように誘導。そして2日目は「学んだことを発信しよう」と、観光ガイド体験や森林セラピー体験を実施。ある生徒は「ミスをしたら、次は日之影に来てくれない」という責任を感じた」と語り、

観光協会

観光

日之影町観光協会

※敬称略

地元の魅力を知り発信力を磨く

観光協会の役割の重要性を知りました。

「トロツコ道を通るのは初めて」と語る生徒がいたり、彼らが予想以上に日之影の魅力を知らないことが認識でき、今後の取り組みの参考になりました。天候によってプログラムが影響されやすいことが課題ですが、来年度は生徒のアイデアを活用して広報活動までさせてみるつもりです。

受入れ事業所の声

事後は動画を作成して発表会を行い、アンケートで効果を“見える化”



2日間の短い職場体験でも、プログラムに工夫することで、生徒たちの表情から目に見えて変化。

職場体験後は、事業所への「お礼の手紙」を書かせて終わり、という学校も少なくありません。日之影中学校では、この事後学習についても当初から計画していました。

大きな特徴は、事業所の方や地域の方、保護者の方を招いて成果発表会を行ったこと。

あらかじめ、発表の材料として「生徒たちの手で、各事業所の魅力を伝えるPR動画を作る」と決めたことで、生徒たちは明確な目標を持って職場体験に臨むことができました。動画制作は技術の時間を2コマ活用し、時間不足では…という先生方の不安をよそに、あつという間に完成。本番の発表会は、既存行事である「立志式」を活用して行われ、生徒たちは大きな達成感に包まれました。

またもう一つ、アンケートやヒアリングによって職場体験の効果を見える化したこともポイントです。アンケートは職場体験の前と後の2回、

同じ内容で実施し、前後で比較しました。たとえば「人は何のために働くと思いますか？」という質問では、職場体験の前は少なかった「世の中に役に立つため」「いろいろな人とつながるため」という回答が大幅に増えるなど、価値観の変容が見られました。また、主体性や将来設計に関わる項目でも大きな変化が見られました。

人づくりの専門家を人、地域ぐるみで取り組んだ職場体験。その評価はまた、来年度に活かされます。

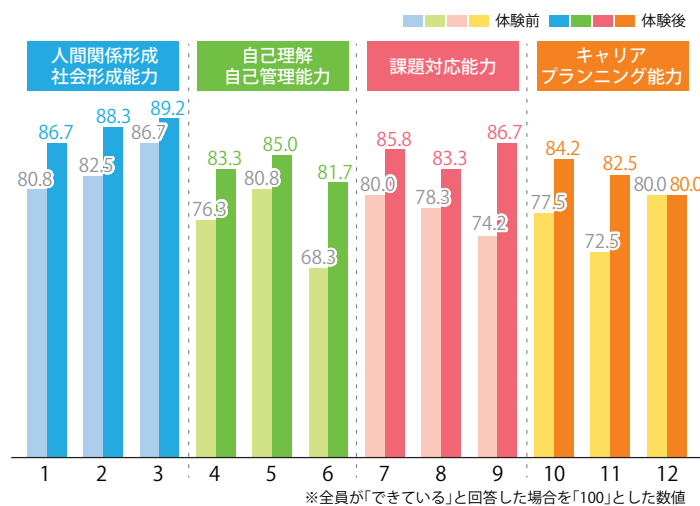
保護者の声

- 日之影町の魅力を再認識し、自分たちが考えたパッケージで商品販売もするよう、で、更なる喜びにつながるのではないだろうか。地元で素晴らしい体験ができ、私もうれしく思います。
- 仕事の大変さややりがいを感じてくれたようです。日之影の資料やパンフレットなども見せてもらい、私自身も初めて知ることがたくさんありました。フェイスブックの投稿に「いいね」しました。
- 2日間、学校から出て社会の風を受け、考え方や物事の捉え方が少し変わったように見受けられます。

職場体験前後で比較した基礎的・汎用的能力の変化

基礎的・汎用的能力を基にアンケート12項目を作成し、体験前後のアンケート結果を比較しました。

1. 友達や家の人の意見を聞くと、その人の考えや気持ちを受け止めようと考えながら聞いていますか。
2. 相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしていますか。
3. 自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、周囲と力を合わせて行動しようとしていますか。
4. 自分の興味や関心、長所や短所などについて把握しようとしていますか。
5. 気持ちが沈んでいるときや、あまりやる気が起きない物事に対するときでも、自分がすべきことには取り組もうとしていますか。
6. 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで資料や情報を収集したり、誰かに質問したりしていますか。
7. 分からないことやもっと知りたいことがあるとき、自ら進んで資料や情報を収集したり、誰かに質問したりしていますか。
8. 何か問題が起きたとき、次に同じような問題が起きないようにするために、何をすればよいか考えていますか。
9. 何かをするとき、見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方について改善を図ったりしていますか。
10. 学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来のつながりを考えたりしていますか。
11. 自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えていますか。
12. 自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。



※ 基礎的・汎用的能力… 社会的・職業的自立に向けて必要な基礎となる能力のこと。「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力によって構成されている。



一般社団法人
教育ソリューション研究協議会



発行：一般社団法人 教育ソリューション研究協議会 運営事務局 カンコータイムズ編集部
カンコーマナビネット株式会社内

Email: info@esc.or.jp TEL: 086(280)8585 FAX: 086(283)2860